

美術館の展示室で守って欲しいことはたった³つ！

「作品をこわさないこと」 「他の人の鑑賞をさまたげないこと」です。

作品は、わたしたちの共有の宝物です。
現在生きている私たちはもとより、未来の人たちの宝物でもあるのです。
その大切な作品を守るために・・・以下のことにご協力ください！



作品にはさわらないでください。

- 作品が傷つきますし、そっとさわっても、手の脂や汚れのために、長い年月の中で、作品にシミができたりカビが生えたりします。
- リュックサックや帽子が作品に当たらないように気を付けて見てください。



展示室内では食べたり飲んだりしないでください。

- 飲食物が、作品についたら汚れてしまいますし、食べかすが虫をよび、その虫が作品を食べてしまうことがあります。そのため展示室内に食べ物を持ち込むときは、かばんにしまい、飲み物(水筒やペットボトル)のふたはかたくしめてください。
- ※建物の外であれば、飲食可能です。



建物内ではふざけたり、走らないでください。

- 作品や他の人にぶつかるかも知れません。危ないのでふざけたり走らないようお願いします。
- 作品の前の柵でも遊ばないでください。これは作品保護のためのものです。体重をかけると壊れてしまうことがあります。



話すときは小さな声でお願いします。

- 大きな声は、他の人の鑑賞のさまたげになります。
- 大きな声で話すと、つばが作品にかかることがあります。それが、シミやカビの原因になります。
- 展示室内で携帯電話を使わないでください。通話や、また着信音も他の人の鑑賞のさまたげになりますので、電源を切るか、マナーモードでお願いします。



カメラ、ビデオ、携帯電話を使つての撮影はご遠慮ください。

- 撮影をする行為は、他の人の鑑賞のさまたげや作品の破損につながる恐れがございます。
- 作品(作者)には「著作権」があります。作者の許可を得ず、撮影したものを公開すると、著作権を侵害する場合があります。



メモする時のお願いです。

- えんぴつ、またはシャープペンシルをお願いします。ペン・マジックのインクなどが、作品についたら消すことができません。
- メモする時は、まわりのお客様にご配慮ください。他の人も作品を見たいと思っています。ゆずりあって鑑賞してください。
- 消しゴムは使用しないで下さい。
- 床、壁、展示ケースに押し付けたり、もたれたりして書かないでください。作品に当たってしまう恐れがありますし、壁が動いて作品が落ちる可能性があります。
(下敷きになるものをご用意ください。15名までの少人数であれば、貸し出し可能です。)
- ※ワークシート課題をされる場合は、必ず事前にご相談ください。
- ※簡単なスケッチ程度は可能です。長時間を要する場合は、他鑑賞者の鑑賞の妨げにならないようお気をつけください。

